

<p>令和5年度 焼津市都市政策部 指定管理者モニタリング評価委員会 (会議録)</p>	<p>日時</p>	<p>令和5年8月23日(水) 13時30分～14時45分</p>
	<p>場所</p>	<p>焼津市役所 7階 第2委員会室</p>
<p>出席者 (13名)</p>	<p>委員長 杉山都市政策部長 副委員長 高澤都市計画課長 委員 小山建築住宅課長 滝区画整理課長 片山進自氏(外部有識者) 指定管理者 村田理事長、寺尾事務局長、甲賀氏、小池氏 事務局 新村都市政策部次長兼都市整備課長 山中係長、山川主任主査、篠島技師、富樫事務員</p>	
<p>指定管理者</p>	<p>焼津市都市公園指定管理者から、令和4年度年次業務報告書により報告を受けた。</p>	
	<p>【以下、質疑応答】</p>	
<p>小山委員</p>	<p>公園利用者アンケートについて、昨年度の評価委員から「今後は年齢層を幅広く、多数の意見を取り組む工夫をお願いしたい。」と意見があったと思うが、回収件数の増加、及び年齢層を幅広くする工夫をどのようにしたか。</p>	
<p>指定管理者</p>	<p>自主事業を年に数回実施しており、参加者を対象にアンケートを実施している。今年度は、石津西公園でイベント開催を予定しており、その際に受付ブースを設置して調査を行う。また、別事業としてフォトコンテストを予定しており、関連事業として、シニア層を対象に「チャレンジ・スクール」も計画している。これらの事業の際に、アンケートを取って公園運営に活かしていきたい。</p>	
<p>小山委員</p>	<p>家庭の緑化相談について、認知度が2ヶ年連続で低迷しているが、認知度を上げる工夫を行っているのか。</p>	
<p>指定管理者</p>	<p>個人で相談に来る事例はないが、日頃から関わりがある事業者の方々から緑化に関する相談も受けることがあり、その都度提案している。</p>	
<p>小山委員</p>	<p>公園ボランティアの美化活動は、活動されている方々の発案か、それとも組合からの提案なのか。</p>	
<p>指定管理者</p>	<p>各公園の利用団体の自主的な活動によるものです。</p>	
<p>小山委員</p>	<p>自動販売機を設置したことにより、それに伴うゴミの増加が懸念される。ゴミ増加の対策はどうしているのか。</p>	
<p>指定管理者</p>	<p>昨年度に新規で自動販売機を4機設置した。設置箇所である石津西公園と大覚寺公園でゴミが増えたと感じている。対策については、清掃回数を増やした。</p>	
<p>片山委員</p>	<p>石津西公園で実施した自主事業のこども防災体験会の際には、募集をどのようにおこなったのか。</p>	
<p>指定管理者</p>	<p>広報やいづに掲載し、募集した。</p>	

片山委員	こども防災体験会は他の公園で実施する計画はあるか。
指定管理者	石津西公園が防災公園という位置付けで整備されており、まずは石津西公園が防災公園であることの認知度を高めたいため、現時点では他公園の開催について考えていない。
滝委員	苦情、要望が令和3年度と比べて若干数増えた主な理由はなにか。
指定管理者	ゴミの散乱と、水回りの改修要望、支障枝の剪定などがあげられる。
滝委員	こども防災体験会の参加者の反応や感想はどうだったか。
指定管理者	大変好評であり、こども達もとても興味深く参加して頂いて、「家族で防災について話すいい機会になった」などの感想があり、開催して良かったと思う。
滝委員	総括の中でITの整備をしたとあるが、どのような機器を整備して、パトロールの円滑化を図れたのか。
指定管理者	情報共有システムが入ったノートパソコンで、修繕や要望の処理を迅速に対応できるように活用している。
高澤副委員長	総括評価票の中で、固定費以外の剪定や修繕等の調整可能な流動費用については優先順位付けをし、予算執行の適正化を実践しているとあるが、優先順位の付け方について、基準はあるのか。
指定管理者	維持管理責任者が現地を確認し、緊急性・必要性の高いものから対処している。
高澤副委員長	無断駐車車両の調査を実施しているが、前年度比の把握はしているか。
指定管理者	前年度の無断駐車の台数については把握しているが比較していないため、傾向はわからない。以前までは瀬戸川緑地で通勤者と思われる無断駐車があったが、パトロール時に車に注意書きを張るなど、注意喚起することにより効果があり、無断駐車が減った。
高澤副委員長	公園フォトコンテストの応募者を増やすため、優秀賞の方に景品を渡したりしているか。
指定管理者	3点優秀賞を選び、広報焼津やHPでの公表、商品券やクオカードを景品としている。
高澤副委員長	月別の要望内容や内容の結果で、外国人がボールを蹴って車に当たった被害があったり、トイレの破損があったりするが、器物破損で警察に届けたことはあるか。また、内容はどのようなものか。
指定管理者	当該年度は器物損害で警察に届け出をしたものが3件ある。警察に届けるかは市が判断している。内容については、石津西公園東側トイレの手洗い場の電気配線が

	切られていたことや、同じ時期にポンプの破損があったことが挙げられる。
高澤副委員長	最近は多い傾向となっているのか。
指定管理者	季節によって変わってくる。特に春先が多い傾向となっているが、理由はわからない。今期については、4月に不法投棄があったが、ごみの中から投棄した人を判断できるものがあったため片づけてもらうことはできた。以前と比べると、いたずらやトイレの破損は減っている。しかし、ごみの散乱は増えている傾向にある。
杉山委員長	自主事業で子ども防災体験会を開催したことについて、事務局としての対応は何をしたのか。
事務局	地域防災課所管の仮設トイレを貸し出し、トイレの設営方法について職員がレクを行い、市として協力をした。
杉山委員長	指定管理者単独では自主事業の規模も限られてしまうが、市が協力することによってより大きく展開できる。今回は、マンホールトイレやかまどベンチの紹介などを行ったとのことだが、志太消防の協力を仰ぎ消防車両の乗車体験を実施するなど、自主事業を大きく展開することは事務局の力量だと思う。組合任せにしないようにすること。 また、今年度の自主事業はどのようなことを行うのか。
指定管理者	11月の下旬に石津西公園でピックヨウルを開催する。内容としてはマルシェであり、クリスマスシーズンのため、自動販売機の売り上げの利益で、イルミネーションを合わせて行う予定である。
杉山委員長	11月に開催予定の自主事業に関して市で協力すべきことはあるか。
指定管理者	詳細について、現在詰めているところである。
杉山委員長	情報発信をすることが集客につながると思うが、広報やいづやホームページを使う以外で、集客する方法は考えているか。
指定管理者	今年からInstagramをはじめており、Instagramによる発信はすでに行っている。
杉山委員長	集客はどのくらいの人数を予定しているのか。
指定管理者	昨年12月のピックヨウルは焼津新港で行っており、その時は6千人の集客があった。そのため、今年度石津西公園で行う際は、もう少し多い人数を見込んでいる。
杉山委員長	以前石津西公園でオープンイベントを開催した際には1万人ほどの集客があり、終始賑わっていた。同規模の開催を期待する。市の幹部職員会議で報告もできるため、詳細等決まり次第教えて頂きたい。 4月から寺尾事務局長が就任されたが、事務局長から見て今後の課題はあるか。

指定管理者	<p>以前は公園を造って維持することを業としていたが、今後は公園を運営、経営をしていくかが課題だと思う。非常にいい施設を持っているので、それを活かしながら焼津市を盛り立てていきたいと思う。</p>
杉山委員長	<p>これからはどうやって使っていくかが、一番大事なことであり、焼津市全体のにぎわい創出にも繋がってくる。毎年、意識調査を行っており、その中では「公園がきれい」などの声もあがっている。公園があるからこそ焼津に遊びに来る、あるいは居住するということに結べればと思う。公園での賑わい創出は即効性が一番高いため、このようなイベントを行うことによって、市内外に発信していきたい。石津西公園は広い芝生広場もあり市外でも有名なところであるため、新たな展開を考えながら今後も協力していければと思う。</p> <p>～指定管理者による業務報告終了、指定管理者退席～</p> <p>～事務局によるモニタリング評価の報告～</p> <p>意見なし</p> <p>～焼津市都市公園の運営評価の協議～</p>
高澤副委員長	<p>「適正」である。</p> <p>日々の点検、パトロールがしっかり行われていること、報告書からもわかるように的確に運営がなされていること、また経理上においてもできる限りのコスト削減を計るなど問題のないことから、適正と判断する。</p>
小山委員	<p>「適正」である。</p> <p>利用者からのアンケート結果も良好であり、協定書や仕様書の遵守に留まらず、指定管理者の創意工夫を持って、公園経営という観点で、管理に努めていることから、適正と判断する。</p>
滝委員	<p>「適正」である。</p> <p>苦情や要望などの不具合箇所に対して、100%完了していることともに、修繕についても極力外注をせずに自ら行うことによって、経費の削減に努めていることから、適正と判断する。</p>
片山委員	<p>「適正」である。</p> <p>物価上昇が続いている中、業務を見直し、調整を図り予算執行の適正化を図ったこと、また、要望苦情件数が昨年より増加しているが、完了率が100%ということ、利用者アンケートについて、53名と昨年度より10名ほど増えており、その大半が好印象を持っていること、日頃のパトロールを含め、事業が適正に行われていることから、適正と判断する。</p>
杉山委員長	<p>委員全員が「適正」であるとの意見であったことから、当委員会として、都市公園の令和4年度の運営管理に関する評価は「適正」とであると判断する。</p>